

豊岡市監査委員	保 田 勇 一
豊岡市監査委員	中 嶋 英 樹
豊岡市監査委員	松 井 正 志

定期監査及び行政監査結果報告について

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定に基づき、定期監査及び行政監査を実施したので、同条第9項の規定によりその結果を報告します。

定期監査及び行政監査結果報告書

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項の規定に基づく財務監査を第4項の規定による定期監査として、併せて第2項の規定に基づく行政監査を実施した。

第2 監査の対象

1 監査の対象

〔教育委員会所管施設〕

五荘奈佐幼稚園、八条認定こども園、豊岡小学校、八条小学校、三江小学校、田鶴野小学校、神美小学校、豊岡南中学校、豊岡北中学校

2 対象期間と範囲

2020年4月1日から8月31日現在までの上記各施設の財務及び一般行政事務に関する事務の執行

第3 監査の着眼点

今回の監査は、上記の教育委員会所管にかかる施設の事務を対象に、主に予算執行その他の事務の処理状況、現金・物品の出納及び保管状況並びに施設管理の状況等を重点に、2020年8月31日現在の監査要求資料等に基づき、それぞれの事務が関係法令等に準拠し、かつ適正・的確に行われているかを試査した。

第4 監査の主な実施内容

監査委員事務局職員による事前監査（予備調査）をヒアリング形式により実施するとともに、監査委員による監査を実施した。

1 事前監査実施日 2020年10月13日及び16日

- (1) 監査要求資料〔所管課（教育総務課・こども教育課・こども育成課）一括分及び各学校・園分要求資料〕、関係帳簿及び書類の提出を求め、事前監査点検事項（チェックシート）を作成した。
- (2) 納入通知書及び支出負担行為伝票を抽出調査し、内容を聴取・確認するとともに、財務会計システムにより予算全体の執行状況を確認した。
- (3) 学校（園）要覧、職員体制及び主要な特別活動の概要について説明を受け、運営状況等について確認した。
- (4) 実態調査表及び自己点検シートに基づいて、状況等内容を聴取した。
- (5) 備品の購入及び管理状況について、備品台帳等により確認した。
- (6) 資金前渡金について、内容を聴取し処理状況の確認を行った。郵券受払簿及び保有数量の確認を行った。
- (7) 学校（園）徴収金の内容や予算の執行状況等について、通帳等により確認した。

2 監査委員監査の実施日 2020年10月29日

事前監査（予備調査）の結果を踏まえて行った。

3 監査委員名 監査委員 保田 勇一 監査委員 中嶋 英樹 監査委員 椿野 仁司

※ 椿野仁司監査委員は、2020年11月11日で退職した。

第5 監査の実施場所及び日程

- 1 実施場所 各学校及び各園執務室並びに現地
- 2 監査の期間 2020年9月1日から11月19日まで

第6 監査の結果

監査の結果については、おおむね適正な事務処理がなされていると認められた。しかし、事務の一部について、留意及び改善を要する点が見受けられたので、それぞれ必要な措置を講じ適正な事務処理に努められたい。

なお、今回の監査における指導事項及び検討事項等は、「第7 監査の総括及び所見」に述べているとおりであるので、今後、対応等検討されたい。

また、軽易な注意事項等についてはその都度口頭で改善指導したので、記述を省略した。

以下、監査の結果は次のとおりである。なお、文中及び各表中の係数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

◎教育委員会

- 五荘奈佐幼稚園—
- 八条認定こども園—
- 豊岡小学校、八条小学校、三江小学校、田鶴野小学校、神美小学校—
- 豊岡南中学校、豊岡北中学校—

1 幼稚園の概要

(1) 幼稚園の概要（2020年8月31日現在）は次のとおりである。

幼稚園名	職員数	園児数	学級数	設立年度	現 施 設 建 設 年 度	敷地面積	園舎面積
五荘奈佐幼稚園	8人	51人	3学級	平成25年度	平成24年度	4,455㎡	1,825㎡

※ 利用定員75人（2020年4月1日基準日 施設カルテ）

在園児 4歳児:19人（1学級）、5歳児:32人（2学級） 計51人、3学級

※ 鉄骨造2階建であり、2階は、五荘放課後児童クラブを開設している。

(2) 職員体制

園長1人、園長補佐1人、主任1人（うち育休1人）、保育教諭1人、園務員1人、会計年度教諭1人、会計年度特別支援2人、会計年度看護師1人 総数9人（うち育休1人）

2 幼稚園予算の執行状況

幼稚園へ配当された予算の執行状況（2020年8月31日現在）は次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	五荘奈佐幼稚園	
	予算額	執行済額
学校振興費	45	41
幼稚園費	3,005	895
需用費	2,759	864
消耗品費	(620)	(270)
燃料費	(3)	(1)
食糧費	(33)	(0)
印刷製本費	(31)	(0)
光熱水費	(1,790)	(524)
修繕料	(282)	(69)
役務費	246	31
合 計	3,050	936

幼稚園での歳出予算科目は、学校振興費（学校・家庭・地域連携推進事業費、感染症対策事業費）、幼稚園費（幼稚園運営事業費、幼稚園施設管理費）であり、各幼稚園に対し均等割、学級割、園児割等でこども育成課及び教育総務課から一部予算配当を行い、幼稚園ごとに予算執行している。なお、学校振興費（学校・家庭・地域連携推進事業費）は、独立園に予算配当され執行されている。

幼稚園費（幼稚園施設管理費）の修繕料として各幼稚園で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が各幼稚園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、備品購入については、こども育成課が各幼稚園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

3 認定こども園の概要

(1) 認定こども園の概要（2020年8月31日現在）は次のとおりである。

認定こども園名	職員数	園児数	集会・保育室数	設立年度	現施設建設年度	敷地面積	園舎面積
八条認定こども園	43人	173人	11室	平成25年度	平成15年度	5,459㎡	1,601㎡

※ 利用定員175人（1号認定児25人、2号認定児85人、3号認定児65人）

在園児 0歳児:4人、1歳児:21人、2歳児:23人、3歳児:34人、4歳児:40人、5歳児:51人
計173人

(2) 職員体制

園長1人、園長補佐2人、主任6人（うち育休1人）、保育教諭8人（うち育休等2人）、給食員園務員2人、会計年度保育教諭11人、会計年度パート職員9人、会計年度養護教諭1人、会計年度看護師1人、会計年度調理員2人 総数43人（うち育休等3人）

4 認定こども園予算の執行状況

認定こども園へ配当された予算の執行状況（2020年8月31日現在）は、次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	八条認定こども園	
	予算額	執行済額
公立保育所費	18,772	7,268
需用費	18,397	7,178
消耗品費	(2,896)	(2,061)
燃料費	(11)	(0)
光熱水費	(3,502)	(1,040)
修繕料	(256)	(124)
賄材料費	(11,732)	(3,953)
役務費	345	79
使用料及び賃借料	30	11
学校振興費	47	42
合 計	18,819	7,310

認定こども園での歳出予算科目は、公立保育所費（保育所管理費、児童保育運営事業費）学校振興費（学校・家庭・地域連携推進事業費、感染症対策事業費）であり、各認定こども園に対し均等割、保育・教育認定児数割等でこども育成課及び教育総務課から一部予算配当を行い、認定こども園ごとに予算執行している。

公立保育所費（保育所管理費）の修繕料として各認定こども園で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が各認定こども園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、備品購入については、こども育成課が各認定こども園の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接執行している。

5 幼稚園及び認定こども園における主な取組状況

各園においては、豊岡市子ども・子育て支援事業計画の基本理念「子どもが元気に育つまち・子育てが楽しいまち 豊岡」を実現するため、それぞれ教育・保育目標を具体的に立て、家庭や地域の支援を受けながら取組んでいる。

- (1) 各園においては、就学前の教育・保育計画「スタンダード・カリキュラム」や「すくすくプログラム－5つの育てたいカー」を指導の基本とし、それぞれの園で教育保育理念を定め、年齢に応じた年間目標を設定し、発達段階に合った教育保育活動がなされている。
- (2) 遊具の点検については、職員が定期的に目視及び打音検査等による点検を実施している。また、3年ごとに専門家による一斉点検を実施するなど安全管理に努めている。
- (3) 就学前の英語活動として「英語遊び保育」を展開するとともに、「からだの力の育成」のための運動遊び、さらにはボランティアによる絵本の読み聞かせや紙芝居など、幼児期に身につけるべき基礎力の育成に向けての教育保育が実践されている。
- (4) 小学校や福祉施設等との交流活動により、異年齢の人とのつながりや人とのかかわり方、やさしさを感じることを体験している。
- (5) 保護者向けに「望ましい生活習慣」や「子どもの発達への理解」を深める努力をしている。
- (6) 特別保育事業については、早朝・延長保育、一時保育、特別支援事業などを行い利用者のニーズに応えるよう努力している。

- (7) 2019年10月から幼児教育・保育の無償化が始まり、幼稚園、保育所、認定こども園を利用する3歳児クラスから5歳児クラスの子どもの施設利用料が無償化されている。(0歳児かクラスから2歳児クラスは市民税非課税世帯のみ)
- (8) 保育ニーズの高まりに対応するため、保育士等確保を推進している。八条認定こども園をモデル園として、保育支援システムを導入し、より働きやすく、より働き甲斐のある園づくりが進められている。
- (9) 2020年度と2021年度の2箇年で、八条認定こども園を増改築して受け入れ枠を拡大し、待機児童の緩和を図っている。

幼児期の教育及び保育の充実は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものである。引き続き、望ましい生活習慣の定着へ向けての保育並びに特色ある幼児期の教育への取組を期待する。

6 小学校の概要

各小学校の概要(2020年8月31日現在)は次のとおりである。

学校名	職員数	児童数	学級数	設立年度	現施設 建設年度	敷地面積	建物 延面積
豊岡小学校	34人	383人	14学級	明治6年度	平成10年度	23,858㎡	8,338㎡
八条小学校	30人	336人	14学級	明治6年度	昭和35年度	19,568㎡	5,178㎡
三江小学校	19人	149人	8学級	明治6年度	昭和57年度	24,473㎡	5,159㎡
田鶴野小学校	18人	158人	8学級	明治7年度	昭和54年度	13,623㎡	3,833㎡
神美小学校	17人	126人	8学級	明治6年度	昭和63年度	31,528㎡	2,945㎡

※ 職員数には事務職員、校務員等を含む。

7 小学校予算の執行状況

各小学校へ配当された予算の執行状況(2020年8月31日現在)は、次のとおりである。

(単位：千円)

区 分	豊岡小学校		八条小学校		三江小学校	
	予 算 額	執行済額	予 算 額	執行済額	予 算 額	執行済額
学校振興費	146	71	135	23	102	21
小学校管理費	10,606	2,796	8,341	2,440	7,766	1,649
需用費	9,900	2,402	7,569	1,975	7,238	1,394
消耗品費	(1,942)	(959)	(1,803)	(867)	(1,068)	(425)
燃料費	(1,845)	(24)	(1,102)	(5)	(1,532)	(128)
食糧費	(4)	(1)	(4)	(1)	(4)	(0)
印刷製本費	(36)	(0)	(33)	(0)	(20)	(0)
光熱水費	(5,393)	(1,104)	(3,958)	(868)	(4,104)	(697)
修繕料	(669)	(307)	(658)	(223)	(503)	(143)
医薬材料費	(11)	(7)	(11)	(11)	(7)	(1)
役務費	355	113	289	79	225	56
備品購入費	351	281	483	386	303	199
小学校教育振興費	325	188	325	266	247	75
需用費(消)	149	143	149	139	113	75
備品購入費	176	45	176	127	134	0
合 計	11,077	3,055	8,801	2,729	8,115	1,745

区 分	田鶴野小学校		神美小学校	
	予 算 額	執行済額	予 算 額	執行済額
学 校 振 興 費	83	54	76	12
小 学 校 管 理 費	5,746	1,816	5,310	1,208
需用費	5,243	1,524	4,817	1,091
消耗品費	(1,103)	(573)	(997)	(403)
燃料費	(1,000)	(102)	(1,141)	(78)
食糧費	(4)	(4)	(4)	(0)
印刷製本費	(21)	(0)	(19)	(0)
光熱水費	(2,604)	(556)	(2,146)	(405)
修繕料	(503)	(281)	(503)	(203)
医薬材料費	(8)	(8)	(7)	(2)
役務費	219	68	209	60
備品購入費	284	224	284	57
小 学 校 教 育 振 興 費	247	111	247	246
需用費 (消)	113	111	113	41
備品購入費	134	0	134	205
合 計	6,076	1,981	5,633	1,466

小学校での歳出予算科目は、学校振興費（学校振興事業費、学校・家庭・地域連携推進事業費、感染症対策事業費）、小学校管理費（学校運営事業費、学校施設管理費、学校保健安全管理費）、小学校教育振興費（教材備品費、理科教育等設備整備事業費）であり、各小学校に対し均等割・学級数割・児童数割等で、こども教育課及び教育総務課から一部予算配当を行い、小学校ごとに予算執行している。

小学校管理費の修繕料として各小学校で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が各小学校の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、小学校教育振興費は、文具教材、教材備品及び理科教材経費であり、消耗品費と教材備品購入費の一部をこども教育課から各小学校へ予算配当し、小学校ごとに予算執行している。

8 中学校の概要

各中学校の概要（2020年8月31日現在）は次のとおりである。

学 校 名	職員数	生徒数	学級数	設立年度	現 施 設 建 設 年 度	敷地面積	建 物 延 面 積
豊岡南中学校	53人	554人	18学級	昭和22年度	昭和51年度	52,649m ²	10,733m ²
豊岡北中学校	48人	521人	16学級	昭和22年度	昭和45年度	72,449m ²	9,046m ²

※ 職員数には事務職員、校務員等を含む。

9 中学校予算の執行状況

配当された予算の執行状況（2020年8月31日現在）は、次のとおりである。

（単位：千円）

区 分	豊岡南中学校		豊岡北中学校	
	予算額	執行済額	予算額	執行済額
学校振興費	202	105	188	45
中学校管理費	15,040	3,687	14,676	4,223
需用費	13,557	3,075	13,382	3,464
消耗品費	(3,402)	(1,350)	(3,196)	(1,271)
燃料費	(4,133)	(234)	(860)	(96)
食糧費	(4)	(0)	(4)	(3)
印刷製本費	(199)	(37)	(186)	(17)
光熱水費	(4,461)	(1,071)	(7,805)	(1,467)
修繕料	(1,343)	(374)	(1,316)	(600)
医薬材料費	(15)	(9)	(15)	(10)
役務費	453	99	314	174
備品購入費	1,030	513	980	585
中学校教育振興費	567	229	533	243
需用費（消）	268	213	253	243
備品購入費	299	16	280	0
合 計	15,809	4,021	15,397	4,511

中学校での歳出予算科目は、学校振興費（学校振興事業費、学校・家庭・地域連携推進事業費、感染症対策事業費）、中学校管理費（学校運営事業費、学校施設管理費、学校保健安全管理費）、中学校教育振興費（教材備品費、理科教育等設備整備事業費）であり、各中学校に対し均等割・学級数割・生徒数割等で、こども教育課及び教育総務課から一部予算配当を行い、中学校ごとに予算執行している。

中学校管理費の修繕料として各中学校で執行しているものは、主に小規模な修繕であり、その他の修繕については、教育総務課が各中学校の実情を把握し、緊急性、必要性等を考慮する中で、直接予算執行している。

また、中学校教育振興費は、文具教材、教材備品及び理科教材経費であり、消耗品費と教材備品購入費の一部をこども教育課から各中学校へ予算配当し、中学校ごとに予算執行している。

10 小学校及び中学校における主な取組状況

各校においては、非認知能力（やり抜く力・自制心・協働性）を身に付けた子どもを育てるため、第4次とよおか教育プランの基本理念「ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成」に則り、それぞれ重点目標並びに学校運営・教育の方針を具体的に打ち立て、家庭や地域の支援を受けながら、その実現に向けた取組に努めている。

(1) ふるさと教育の推進

ふるさと教育については、それぞれの学校で地域と連携・協力して特色のある事業を行っており、その地域でのフィールドワーク等を通して、ふるさとを深く知り親しみを持つことで地域への愛着と誇りの醸成を図っている。

(2) 英語教育の推進

英語教育については、全ての小・中学校に配置されているALT（外国語指導助手）を

中心に行われている。小学校では、3・4年生で「外国語活動」が必修に、5・6年生で英語が教科となり、1・2年生では豊岡市独自の取組である「英語遊び」を継続している。就学前の英語活動を含め、幼児期から小・中学校までの連続性と系統性のある学習で英語教育の推進を図っている。

(3) コミュニケーション教育の推進

性別や年代を問わず、自分の主張を正確・効果的に相手に伝えると同時に他者を理解できる能力の育成を目指したコミュニケーション教育の実践が各校で行われている。

(4) いじめ防止対策

学校では毎月1回「いじめアンケート」を実施するとともに小学校3年生以上の全児童生徒を対象に、学校環境への適応感をはかる「アセス」を実施し、子どもたちの心の状況を客観的にとらえることで、いじめや問題行動の未然防止、早期発見、早期対応につなげている。

(5) 不登校対策

不登校の児童生徒のいる学校があるが、“子どもに寄り添う”を基本にスクールカウンセラー、教育研修センター及びこども支援センターと連携しながら、学校を挙げてその対応と解消に努力している。

(6) ICT教育

情報化社会に対応した教育用コンピューターを導入し、ICT（情報コミュニケーション技術）を活用した教材研究、指導の準備、授業中の活用など、各校において有効活用している。授業のねらいを達成するため、情報モラルに留意しつつ、児童生徒及び教職員のICT活用能力向上へ取り組んでいる。

(7) 空調設備の整備

2020年3月までに全ての小・中学校の普通教室に空調設備の整備が完了し、小学校の英語の教科化による授業時間の増加分に対応している。

(8) 「学校における働き方改革」

取組の一環として、2019年4月から全ての小・中学校に統合型校務支援システムを導入し、業務の効率化を図り、学校現場における働き方の見直しに向けた意識改革、業務改善を進めている。教員が子どもと向き合う時間を確保し、業務に専念できる環境を整えている。

今後、少子化の影響からすべての学校において、児童生徒数は減少傾向になるが、引き続き、学校並びに地域の特性を活かし、「とよおか教育プラン」の基本理念を実現するため、学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を深く自覚し、より強い連携のもと基本理念の共有と実践に努められることを期待する。

11 新型コロナウイルス感染症対策における主な対応状況

- (1) 新型コロナウイルス感染症対策として、家庭学習に差が生じないように学習指導員を配置している。
- (2) 小中学校における児童生徒1人1台端末・ソフトウェアを整備している。
- (3) 小中学校再開に伴い、感染症等を徹底しながら子供たちの学習を保障するため特別教室の空調設備を整備している。
- (4) 感染症予防対策として各校園にマスク、消毒液及び空気清浄機を配備している。

第7 監査の総括及び所見

- 1 内部統制の有効性及び妥当性並びに合理性の観点から、全体的（共通事項）における要望事項等については、以下のとおりである。

〔要望事項〕

- (1) 修繕料の執行については、効果的・効率的で緊急時にも対応できるような仕組みの中で行われており、そのことが、学校園と教育委員会双方の事務の省力化につながっている。予算計上にあたっては、その箇所の危険度を考慮することはもとより、生徒児童園児の環境改善の観点からも検討することが必要と思われる。引き続き適正な施設管理を行うよう要望する。
- (2) 学校園に隣接する近隣土地の所有者の連絡先について、すべて把握できていない状況である。有事の際に即時に連絡調整が可能となるようにその把握に努められたい。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響は大きく、各学校園でも支障がでている状況である。各学校園の取組により対応されていたが、この影響は大きなものであると考え、今後の学校運営にも影響を与えるものと思われる。取組が生徒児童園児のためとなるよう期待する。

- 2 各施設における指導事項等については、以下のとおりである。

＜幼稚園及び認定こども園＞

幼稚園及び認定こども園の要望事項等については、次のとおりである。

〔要望事項〕

- (1) 保育支援システム導入のモデル園である八条認定こども園では、業務改善が図られ、今まで難しかった職員の研修受講機会がオンライン環境により整えられたり、園だよりの発行について保護者から好評を得ていると聞き取った。今年度は西保育園に導入されるとのことであり、今後システム導入のメリット、デメリットについて検証を行い、有効な活用が図られることを期待する。
- (2) 不審者等に係る安全対策について
 - ア 県警ホットラインがすべての園に配備されている。これらを使用した防犯（不審者対策）訓練等が行われている。今後も県警ホットライン設置の意義と重要性を改めて認識し、計画的に実施されたい。
 - イ さすまたについては、保有数がまちまちの状況であった。園の防犯マニュアルに配備についての記載はないが、不審者対策として効果があると思われる。さすまたを逆に押し返されたり、奪われたりする可能性があるため、有事の際に効果的に使用できるよう引き続き操作方法の研修等を行われたい。

＜小学校及び中学校＞

小学校及び中学校の指導事項等については、次のとおりである。

〔指導事項〕

- (1) 県警ホットラインがすべての小中学校に配備されている。しかしながら、これらを使用した防犯（不審者対策）訓練等が未実施であったり、機器の点検等を実施していない学校が見受けられた。昨年の監査結果報告においても指導事項としており、その後の校園長会でも情報共有されているにもかかわらず改善されていない状況である。県警ホットライン設置の意義と重要性を改めて認識し、教育委員会と連絡調整を行い、計画的

な実施を検討されたい。また、学校においては、有事に備えて日常的な機器の管理に努められたい。

〔検討事項〕

- (1) 不審者等に係る安全対策として配備しているさすまたについては、保有数がまちまちの状況であった。学校の防犯マニュアルに配備についての記載はないが、不審者対策として効果があると思われるため、有事の際に効果的に使用できるよう操作方法の研修等を行うことも検討されたい。
- (2) 余裕教室のある学校においては、多目的教室として使用されていた。余裕教室については、今後少子化等が進む中で更に増加するものと考えられること、余裕教室のない学校との教育のバランスはどうかなど、今後の余裕教室のあり方、活用方法について検討が必要である。
- (3) 学校施設の使用について、使用に係る鍵の収受の方法がまちまちであった。近隣施設が行う場合、学校事務所が行う場合などである。学校施設の管理上、学校が使用状況を確認することは必要と思われるが、鍵の収受については、学校の負担軽減を図る観点から近隣施設に依頼することも検討されたい。

〔注意事項〕

- (1) 支出負担行為として整理する時期に誤りがあるもの、必要な書類の貼付のないものが見受けられた。豊岡市会計規則に基づく適正な事務処理に努められたい。
- (2) 学校徴収金要綱に基づく出納責任者及び会計担当者は指定されていたが、一部の学校において、複数の確認が行われていない状況が見受けられた。学校徴収金の会計事故の未然防止を図るためにも適正な事務処理に努められたい。

〔要望事項〕

- (1) 豊岡市立のすべての小中学校に成績処理、出欠管理、保健管理、指導要録、学籍関係などの機能を有する「統合型校務支援システム」が導入されている。各学校においては、システム導入後の業務の効率化と教育の質の向上が図られていると聴取した。学校における働き方改革への取組が一層進むことを期待する。
- (2) 理科実験用薬品の保管場所については、施錠されていたが、一部の学校において保管台帳の整備が行われていない状況が見受けられた。物品出納簿等により管理状況の把握に努められたい。